



## 編集月旦 2014年2月号

### ★「原発ゼロ社会」と「平和な長寿社会」がわれわれの誇りに

猪瀬直樹都知事の辞任を受けて行なわれた2月9日(日)の東京都知事選。

8日が20年ぶりの大雪、9日に雪を踏んで投票にいった有権者は46・14%、前回の62・60%を大幅に下回った。16人が立候補し、「殿ご乱心」と陰口をたたかれるのを承知で細川護熙元首相が立った。細川さんは小泉元首相の「原発ゼロ」の支援を受けて、両首相は寒風にさらされながら街頭に立ち、日本の将来像を掲げて訴えた。勝手連として多くの文化人が個別に支持したが、われわれもシニア・ジャーナリスト勝手連として、都民が安心して暮らせる首都であってほしいとの願いから別添のような緊急提案を届けた。

細川候補の勝利には、2020年の「オリンピック・パラリンピック」とともに、2019年の「国際高齢者年20年」と2022年の「高齢社会に関する世界会議」(1982年ウイーン、2002年マドリード)というふたつの高齢社会にかんする“東京招致”にも、そのリーダーとして実現をめざしてほしかったからである。

オリンピック開催都市として各区で500人を越える「孤独死」がつづくようなまちであってはならない。わが国は世界最速で高齢化が進んでいる。首都東京はその対策を成功例として世界に示すべき役割をもつからである。

冬山如睡。

**各地各界の敬愛する高齢者のみなさんに呼びかけています。**

◎「アベノミクス」の恩恵は高齢者にはとどかない。

◎安倍政権下では格差がひろがって高齢者への敬意が薄れていく。

◎2014年は「団塊の世代(700万人)」すべてが高齢者の仲間入りをする。

- 4人にひとり・25%・3200万人に達した高齢者(65歳以上)が
- ・生活圏で新たな「モノ・居場所・しくみ」をつくりながら存在感を示すこと。
- ・地域・平和・民主主義のもとで「長寿社会(平和の証)」の達成にむかうこと。
- ・国防軍ではなく国民運動として地域を愛し国を守る姿を示すこと。

それなら隣国から非難を受けるどころか敬意を受けることになるでしょう。

◎上の趣旨にご賛同いただき、お仲間、とくに「団塊の世代」のみなさんに「丈風」の転送をお願いいたします。e-mailの力を信頼しつつ。

**失礼があればお恕しく下さい。**

\*\*\*堀内正範 朝日新聞社社友(元『知恵蔵』編集長) 高連協オピニオン会員

E-mail [mhori888@ybb.ne.jp](mailto:mhori888@ybb.ne.jp)

Tel & Fax 0475-42-5673 Keitai 090-4136-7811

〒299-4301 千葉県長生郡一宮町一宮 9340-8

Web 「丈人の会」「月刊丈風」<http://jojin.jp>

Blog 「らうんじ・茶王樹・南九十九里から」<http://myhp.ne.jp/chaoju/lounge>

★一人ひとりが長寿を喜べる「日本長寿社会」の達成とアジアに住むだれもが等しく豊かさを享受する「アジアの共生」は、ともに平和の証であり日本高齢者の課題であり本誌の目標です。(編集人 記)

